

# 交野市教委ニュース

第82号（平成29年12月6日発行）

## 拡大交野市小中一貫教育モデル中学校区連絡協議会

平成29年12月1日（金）に、交野が原学園の公開授業（小中一貫教育を意識した授業づくり）と、拡大交野市小中一貫教育モデル中学校区連絡協議会が長宝寺小学校において開催されました。市内各小・中学校の校長・教頭をはじめ、各校の小中一貫教育担当教員が参加し、授業研究協議や意見交流が活発に行われました。

### 長宝寺小学校・公開授業（体育）

中学校の先生と小学校の先生2名の**チームティーチング**で、小学6年生の体育の公開授業が行われました。授業の初めに、長宝寺小学校オリジナルのミラクル体操で身体も心もほぐし、補助運動として、2人ペアでの馬跳び。3名の先生が大切なポイントを的確に伝えながら、「上手だね!」「こうするともっとよくなるよ」など声をかけ、子どもたちは伸び伸びと取り組んでいました。



いよいよ跳び箱運動！子どもたちは、3つのグループ ①跳び箱連続跳び ②8の字跳び ③馬跳び に分かれて、それぞれの場所で懸命に練習していました。中学校の先生の専門的な指導のもと、8の字跳びの場所では、「首はね跳び」や「閉脚跳び」など、より高度な技の練習に積極的にチャレンジしていました。初めて跳べたときの子どもの顔が輝いていました。

### モデル校区における取組み発表・意見交流（外国語活動・英語科、家庭科）

今年度小中一貫教育モデル校区である交野が原学園から、小学校外国語活動と中学校英語科、小学校家庭科と中学校技術・家庭科における、小・中学校の9年間の教育活動を見通した実践について報告がなされました。いずれの発表も、小・中学校の教職員が日頃から連携を深め、双方のカリキュラムのつながりを意識した内容の濃いものであり、他学園の教職員はその先進的な取組みに熱心に耳を傾けていました。また、その後の意見交流は、4つの学園の教職員で班を構成し、互いの取組みの成果と課題について確認し合える実りある時間となりました。



小・中学校9年間を見通した教科ごとのカリキュラムの編成については、交野が原学園において着実に進展しています。市教委としても、交野が原学園の取組みを他学園に広める等、引き続き支援してまいります。